

2026年2月15日(日)

日本キリスト教団 久宝教会

第68巻第44号(通算3481号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう 週報

教会標語

小さくされている人を
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

こうたんせつ 降誕節

だい しゅじつれいはい 第8主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙祷)

AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しへん
詩編

125編 1-2節

さんび か
賛美歌

21-462番「はてしも知れぬ」(©著作権消滅)

せいしよ
聖書

マルコによる福音書

4章 35-41節

いの
お祈り

さんび か
賛美歌

『聖公会聖歌集』476番「暗闇行く時には」(©JASRAC)

メッセージ

「嵐の時も神は共におられる」 牛田 匡 牧師

さんび か
賛美歌

21-452番「神は私を救い出された」(©JASRAC)

しゅいの
主の祈り

21-62番「天にいますわたしたちの父」(©讃美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物(*)

はけん
派遣

21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく
祝福

牛田 匡 牧師

こうそう
後奏

アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

ほうこく
報告

(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 125 編 1-2 節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

¹主に信頼する人はシオンの山のように

揺らぐことなく、とこしえにとどまる。

²エルサレムを山々が囲み

主はその民を囲んでおられる。

今より、とこしえに。

聖書 マルコによる福音書 4章35-41^{せつ}節（聖書協会共同訳©日本聖書協会）

³⁵ さて、その日の夕方になると、イエスは弟子たちに、「向こう岸へ渡ろう」と言われた。³⁶ そこで、彼らは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。³⁷ すると、激しい突風が起こり、波が舟の中まで入り込み、舟は水浸しになった。³⁸ しかし、イエス自身は、^{とも}艫の方で^{まくら}枕をして眠っておられた。そこで、弟子たちはイエスを起こして、「先生、私たちが溺れ死んでも、かまわないのですか」と言った。³⁹ イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり^{なぎ}凪になった。⁴⁰ イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信仰がないのか。」⁴¹ 弟子たちは非常に恐れて、「一体この方はどなたなのだろう。風も湖さえも従うではないか」と互いに言った。



《先週のメッセージより》2026年2月8日 信教の自由を守る日礼拝

「やってみようとうどうせダメだ」

牛田匡牧師

聖書 マルコによる福音書 2章 1-12節

今回は、イエス様が体の麻痺した人を癒やされたお話でした。イエス様の評判を聞きつけた人たちが大勢やって来たために家の中は満員で、体の麻痺した人を4人の友人たちが連れてきても中に入ることはできませんでした。しかし、彼らは諦めず、屋根に上り、屋根を葺(ふ)いていた葉や木材を動かして穴を開け、そこから担架ごと体の麻痺した人をイエス様の前に吊り下ろしました。イエス様はそのような4人の必死な思いを見て取り、目の前に吊り下ろされた人に対して、「あなたの罪は赦された」と言われました。「赦し」という言葉の元々の意味は、「そのまま行かせる」です。『『病気が治らないのは罪のせいだ』と言うような周りの人たちの陰口なんか気にしなくても大丈夫。あなたは今のままでそのまま進んでいくことができる』。イエス様は、そのように励まし、引き起こし、背中を押された。それによって、癒された、解放された人々が多くいたのだらうと思います。このお話でも4人の友人たちが、満員電車状態の家の前で諦めていたら、それで終わりでした。「どうせダメだ」ではなく、何とかして「やってみよう」と思って試行錯誤したからこそ、その人は癒され、新しい生き方へと歩みを進めていくことができるようになりました。仲間たちと共に諦めないで「やってみよう」と取り組み続けること。そこに紛れもなく共にいてくださる神の助けがあるのではないかと思います。

今、格差は広がり、生活はますます厳しくなっています。それを「誰かのせい」と言って排斥する政党もあります。社会への不満や諦め、怒りから、ファシズムが生まれ、100年前の世界大戦が始められたように、今この社会にある人々の不満や怒りが、暴走していこうとするのを、「もう駄目だ」と諦めてしまえば、それこそ取り返しがつかなくなってしまう。この社会の現状を、誰かのせいだと決めつけて、排斥するような短絡的な思考や、「強い国にするから大丈夫。すべて私に任せない」というようなファシズムの思考から、解放される必要があります。私たちはそのような命を損なう道を踏み外した歩み(罪)から解放されることが出来る。命を生かす神様と共にあって、私たちは諦めることなく命を守る道へと歩みを導かれて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2026 年 2 月 8 日

礼拝出席 大人 3 人 献金 3,000 円 中継視聴者数 33 回 感謝

◎次週 2026 年 2 月 22 日（日）^{レント}受難節第 1 主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 58 章 3-7 節

聖書 マルコによる福音書 2 章 18-22 節

メッセージ「新しく生きる」牛田匡牧師

賛美歌 305 (©JASRAC)、296 (©P.D.)、「イエスに結ばれて」(©日本賛美歌学会)

礼拝の中で 2 月に誕生日をお迎えになられた方々の誕生者祝福式を行います。

今年のレント（受難節・四旬節）は、2 月 18 日（水）から 4 月 4 日（土）です。

レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかについて考える時です。



◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けいたします。どなたでもご参加ください。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・本日 14 時半～16 時にかけて、小阪教会（近鉄奈良線「河内小阪」駅下車、南へ徒歩 10 分）にて「第 2 回 フレイル予防セミナー」が開催されます。テーマは「いつまでも『つまづかない！歩ける！』を叶える健康術」です。予約不要で参加費も無料です。動きやすい服装と靴とでご参加ください。
- ・本日 15 時から南大阪教会（大阪メトロ御堂筋線「昭和町」駅下車徒歩 5 分、谷町線「文の里」駅下車徒歩 5 分）にて、「第 12 回大阪韓日教会合同礼拝」が開催されます。礼拝後にティータイムがあります。どなたでもご参加ください。
- ・2 月 21 日（土）14 時半～16 時半にかけて、大阪クリスチャンセンターにて、大阪教区核問題特別委員会主催の公開講演会「尊厳の回復と『逆転しない正義』を求めて」が開催されます。講師は鴨下全生さん（福島原発被害東京訴訟原告）と津久井進さん（原発賠償ひょうご訴訟弁護団長）です。福島第一原発の核事故から 15 年ですが、まだ何も終わっていません。事前予約不要で、入場無料です。どなたでもご参加ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
2/22	牛田匡牧師	誕生者祝福式
3/1	牛田匡牧師	ユーカリスト・教会を考える会
3/8	教会堂での礼拝は休会です (YouTube配信のみ行います)	
3/15	牛田匡牧師	

核問題特別委員会

公開講演会

あれから15年・・・
原発核事故はまだ終わっていない！

尊厳の回復と
「逆転しない正義」
を求めて・・・

2026年

日時 2月21日(土)

14:00～16:30 (13:30開場)

会場 大阪クリスチャンセンター
1 階大ホール

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26-47

入場無料



主催：大阪教区核問題特別委員会
お問い合わせ 090-1899-0475 (山崎知行)



鴨下全生さん

被害は今も
《原発事故が生んだ
分断と傷跡》

福島原発被害東京訴訟原告



津久井進さん

「命と尊厳」を
希求する
原発賠償訴訟

原発賠償ひょうご訴訟弁護団長



教団のシンボル

小林憲明さん
「ダキシメルオモイ」より